

平成 2 3 年度事務事業評価調書

平成 2 3 年度作成

平成 2 2 年度 実施事業	事務事業名 ごみ減量化推進事業（資源ごみの回収）
-------------------	---------------------------------

区分	番号	名 称
章	2	自然とともに暮らすまち
節	1	環境への負荷の少ないまちをつくる
施策	2	循環型社会の構築
小分類	1	廃棄物の減量
主要な施策	1	ごみの排出抑制の普及啓発とその実践強化
事務事業番号	003	事務事業コード 21211003 事業開始年度 平成 1 2 年度 事業終了年度 平成 - 年度

会計種別	一般会計	予算書上の事務事業名	資源回収団体奨励金
------	------	------------	-----------

部 名	市民生活部	グループ名	環境対策室環境対策 G
-----	-------	-------	-------------

統合前または名称変更前の事業名	
-----------------	--

事務事業の目的と成果

目的	<p style="background-color: #fff9c4; margin: 0;">（事務事業の実施目的を具体的に記載してください）</p> <p>市内の地域住民で組織する町内会や子ども会などの登録団体が実施する各家庭からの資源回収に対し、奨励金を交付することにより、資源の有効利用に対する市民の意識高揚やごみの減量化を図ることを目的とする。</p>
手段 （事業の内容・活動）	<p style="background-color: #fff9c4; margin: 0;">（目的を達成するためにどのような手法で行うのか、事業の概要を具体的に記載してください）</p> <p>地域の資源（紙、びん、金属、布類等）回収を円滑に進め、資源の再生利用の推進を図るため、資源ごみの回収事業によるごみ減量化の登録団体に資源ごみの回収量に応じた奨励金を交付する。</p>
成果	<p style="background-color: #fff9c4; margin: 0;">（事務事業の実施成果を具体的に記載してください）</p> <p>登録団体による資源回収量を増加させ、クリーンセンターに搬入される廃棄物の量の抑制を図る。</p>
根拠法令等	<p style="background-color: #fff9c4; margin: 0;">（事業を実施する際、根拠となる法令・条例・規則・要綱等の名称をすべて記載してください）</p>

指標の推移

区 分		単位	区分	22年度 実績	23年度 目標	24年度 目標	25年度 目標	26年度 目標
成果 指標	資源回収団体登録数	団体	目標値	95	90	90	90	90
			実績値	84	/	/	/	/
	資源回収量	トン	目標値	1,850	1,800	1,600	1,600	1,600
			実績値	1,510	/	/	/	/

事業費の推移

区 分			単位	22年度 決算	23年度 当初予算	24年度 見込	25年度 見込	26年度 見込	24～26 年度
事業の 財源内訳	国庫支出金	名称	千円						0
	道支出金	名称	千円						0
	地方債	名称	千円						0
	その他	名称	千円						0
	一般財源	名称	千円	4,528	5,460	4,800	4,800	4,800	14,400
合 計				4,528	5,460	4,800	4,800	4,800	14,400
(参考) 上記事業を実施する上で 必要となる人件費			職 員	千円	797	818			
			嘱 託 員	千円	0	0			
			臨時職員	千円	0	0			
			合 計		797	818			

担当グループによる事務事業評価の内容

1. 事務事業の妥当性について			
今後も市が事業主体として実施していくことは妥当ですか？	→	妥当である 妥当ではない	→ 妥当である理由、妥当ではない理由は何ですか？ 登録団体による資源回収により、再生可能な資源ごみがリサイクルされ、ごみの減量効果に繋がっていることから、この事業は妥当であると判断する。
2. 事務事業の成果について			
成果はあがっていますか？	→	成果があがっている どちらかといえばあがっている 成果があがらない	→ 成果があがっている理由、あがらない理由は何ですか？ 登録団体である町内会で活動する者の高齢化や事業の多様化により積極的に資源回収に取り組む時間が割けないなどの要因により、登録団体数や回収量が減少している。
3. 事務事業の成果向上について			
成果を向上させることはできますか？	→	大きく向上させることができる 少し向上させることができる 向上させることはできない	→ どのようにして向上させますか？ 向上させることができない理由は何ですか？ クリーンリーダーや町内会の積極的な協力により可能である。
4. 事務事業の経済性・効率性について			
成果を落とさずにコスト（予算や人工、所要時間）を削減することはできますか？	→	削減できる 削減できない	→ どのような方法でコストを削減しますか？ 削減できない理由は何ですか？ 奨励金を収集量に応じていて、奨励金の単位当たりの額の減額は、登録団体の意欲低下を招く恐れがある。

担当グループによる評価

維持	左記の評価を選択した具体的な理由（根拠）	本事業の実施により、資源のリサイクル化の推進と市民のリサイクル意識の向上が図られる。
-----------	----------------------	--

総合的な評価（当該事務事業の方向性）

維持	備考
-----------	----

評価の種類

- 拡大（事務事業の規模や経費を拡大し、これまで以上に強力で推進する事務事業）
- 維持（現状の対象や目指す姿、手段などに変更が無く、今後も実施する事務事業）
- 改善（現状の手段や経費などを見直し、成果指標の向上等を行う必要がある事務事業）
- 休止（暫定的に休止する事務事業）
- 終了（当初から決められていた事業期間が終了または成果品等が完成し、目的を果たした事務事業）
- 廃止（当該事務事業の予定を変更し、廃止する事務事業）